

柏原市まちづくり部ふれあい課長 殿

柏原市まちづくりに頑張る自治会、団体に対する支援事業

集い、笑い、助け合う「市場町祭りにぎわい」プラン
事業報告書

平成23年3月31日

申請団体名 まちプロ市場クラブ
代表者名 寺田忠義
所在地 柏原市国分市場1丁目3番7号

平成22年度柏原市まちづくりに頑張る自治会・団体に対する支援事業

集い、笑い、助け合う「市場町祭りにぎわい」事業報告書

平成22年7月20日付け、柏市 第35号で決定いただきました事業に関し、下記の通り事業効果および補助金の活用結果を報告します。

1. 事業目標と成果

- (1) 国分神社境内と老人集会所を最大限活用し「夏祭り」「秋祭り」などの機会を利用し地域の遊休農地を活用した野菜を栽培、収穫物の販売を通して子供やお年寄り中心に楽しんでいただき住民間の繋がりを強めていきたい。

<実績と成果>

添付写真の通り農地3か所を借り受け、イベントに適した西瓜、トウモロコシを耕地、施肥、種蒔、育成などを行い、8月の「市場町ふれあい祭り」で親子連れと一緒に加工・販売、売上金は全額 自治会に寄付した。

<課題>

当初予定していた遊休農地の借用は法制上の制約や借り受けなど課題多く実現せず、メンバーの所有地を活用せざるを得なかったが今後は遊休農地活用の為の環境整備が必要と考えます。

- (2) ヒメボタルの育成

国分神社周辺に生息するヒメボタルを環境保全のシンボルとして位置づけ地域の子供やお年寄りと一緒に保護、育成活動を行い、まちの活性化の起爆剤としたい。

<実績と成果>

大阪府下で保存活動が盛んな吹田市、河内長野市のメンバーから基礎的情報の収集活動を実施、その活動方法や保存方法を学ぶとともに狭山市で開催された全国ヒメボタルサミットに参加、市民団体の活動実態や運営ノウハウを学ぶとともに情報ネットワークの構築ができた。

<課題>

ホタルの保護・育成は生息する周辺の土地所有者の協力が前提となり、農作物への影響や見学者増加時のマナーに対する心配などから協力が得られないケースが多い。また事業が長期間に亘る為、今回のような短期間の補助金制度に限界がある。

2. 補助金の活用

上記の事情から全ての活動費について補助金を使わず、クラブの自主運営費用を活用した為、交付された50,000円は全額を返納 します。

3. 今後の活動 メンバー有志による自主的な取り組み、活動を継続します。

主要な地域資源、国分神社境内を活用して開催された
「市場ふれあい祭り」で地域農地で栽培した農産物を販売



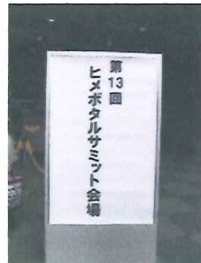
毎年、国分神社境内で開催される「市場ふれあい祭り」は夏の風物詩、その一角に地産地消農産物の販売コーナーがお目見え



市場クラブのメンバーの所有地や借農地を活用し祭りに適したトウモロコシと西瓜に絞り夏祭りのタイミングに合わせ栽培

市場クラブのメンバーによる炭火焼きトウモロコシは美味さも安さも大好評、あっという間に完売、売上金全額主催者に寄付、ほどよく冷やされたスイカも奮闘する主催者に気前よく無料提供

国分神社周辺に生息するヒメボタルの保護、育成



狭山市で開催された第13回ヒメボタルサミットに特別参加(2010年6月15日)



国分神社周辺に生息するヒメボタル調査



交尾するヒメボタル



捕獲確認されたヒメボタル



全国各地の固有のヒメボタルの生態を紹介



ヒメボタルの特技 発光・人と自然の会・今城野代子氏撮影

黒の三角形
二部が光る
オス
メス

3種のホタルのちがい

	ゲンジボタル	ヘイケボタル	ヒメボタル
大きさ	オス 10mm メス 10mm	オス 10mm メス 10mm	オス 10mm メス 8mm
すみか	きれいな川、池、水田	池、水田、川	池、水田、水田
幼虫のえさ	カワコバ	ヒメキノコ、ヒメキノコ、キノコ	キノコ、キノコ
発光の仕方	1つだけ光る	頭と尾を光らす	3つだけ光る
発光時期	8月上旬～6月下旬	8月中旬～7月	5月中旬～6月上旬
産卵数	400～1000個	70～100個	50～100個

メンバー全員で吹田市ヒメボタルの会を訪問、情報収集